

- 資産運用
- 年金財政**
- 年金制度
- その他

## 【DB年金財政】 DB財政再計算について

5年に一度の財政再計算は、労働環境や経済環境の変化を踏まえDB制度全般を検討する機会です。あわせて、計算基礎率が見直され掛金は変動します。今回は、この財政再計算の目的と検討事項の例、掛金が変わる仕組みについてわかりやすく解説します。 ※本資料において、DB：確定給付企業年金、財政再計算：5年に一度の財政再計算、とします。

Topic



**健人（けんた）** 人事・勤労部門で退職金・企業年金を担当する新入社員。  
「聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥」が信条。数子を尊敬している。

**数子（かずこ）** 退職金・企業年金担当のベテラン社員。新入社員・健人の教育担当。  
その熱心さゆえ、厳しい面が出てしまうこともあるが、実は後輩想い。



### 財政再計算の目的と検討事項の例

？ 今年度は、5年に一度のDBの財政再計算を実施する年度と聞いたのですが、この財政再計算は何のために行っているのでしょうか？

財政再計算は健全な年金財政運営が行えるよう、一定期間ごとに長期的な収支見込みをチェックして、掛金を見直すものなの。法令では、少なくとも5年毎に見直すこととされているので、DB制度全般を見直す良い機会とも言えるわ。



？ なるほど。それでは財政再計算で、我々は具体的に何をすればよいのでしょうか？

例えば、以下の点について検討することが考えられるわ。



<財政再計算時の検討事項の例>

検討事項	内容
資産運用方針（期待収益率）、予定利率（※）の見直し	・資産運用方針（長期期待収益率を含む）と予定利率の関係の確認
年金財政に関する見直し	・過去勤務債務の予定償却期間の短縮 ・リスク対応掛金の拠出 ・掛金計算の前提の見直し
給付設計の見直し	・労働環境や経済環境の変化等を踏まえた給付設計の見直し

（※）裏面の表またはスミセイ・年金インフォメーションvol.69をご参考ください。

？ 確かに、前回の財政再計算から5年も経つので、いろいろなことが変わっているかもしれないですね。良い機会なので、確認・検討する必要がありますね。



最近金利の変動がニュースになることも多いし、今後の運用環境の動向に基づき、運用方針の見直しを検討することは大切ですね。

そうですね。年金制度は運用方針の期待収益率と予定利率の関係が非常に重要なので、運用方針を見直す場合は予定利率の変更要否の検討も必要になるね。予定利率を変更すると、掛金も変わって会社の予算にも影響があるわ。



年金財政に関する見直しとは、過去勤務債務がある場合、積立不足の早期解消のために予定償却期間の短縮を検討したり、将来の運用損失に備えた積立てのためにリスク対応掛金の拠出を検討したりすることですか？

そうですね。いずれも将来の積立金を増やすことで年金財政の健全化や掛金拠出の安定化を図るとのことね。



？ 給付設計の見直しって、例えばどういうことがありますか？

給付設計の見直しというのは、頻繁に行うものではないのだけど、企業を取り巻く労働環境や経済環境が変わると、退職金が当初会社が想定していた目的に沿わなくなることがあるの。



例えば、DB制度の給付設計が定額制や最終給与比例制だと、従業員個人の毎年の会社への貢献が反映されないものになる可能性もあるわね。そういった場合、ポイント制への移行なども検討することになるわね。



あと、財政再計算では掛金計算の前提を見直すこともしているの。



？ えっ！それってどういうことですか？



## 計算基礎率の見直しにより掛金が変わる仕組み

DB制度は、将来の給付額を掛金合計と運用収入合計から支払う仕組みだったよね。では、将来の給付額はどのように算定すると思う？



えっと、例えば当社のDB制度の給付額は退職時の「基本給×勤続年数に応じた率」で算定されるから、定年時の勤続年数は38年で、基本給については、今より定年時には増えているはずだから…、あれ、でも基本給ってどれくらい増えるんだろう…。

そうね、将来の基本給がいくらか予測することが必要ね。予測する上では、将来の基本給がどれくらい増えていくかという前提について考える必要があるの。このような前提のことを「計算基礎率」と呼んでるの。例えば、法令で定める以下のものがあるわ。



### < 計算基礎率の例 >

計算基礎率	内容
予定利率	掛金算定する上で前提とする年金資産の運用利回り
予定死亡率	厚生労働大臣が定める率
予定脱退率※	定年、死亡等以外の事由でDB制度から脱退する確率
予定昇給率※	DB制度の基準給与について、予測される昇給割合
指標の予測	キャッシュバランス制度での再評価率等の予測

※簡易な基準に基づくDBでは使用しません。

財政再計算では、これらを企業の実績等を元に見直すので、将来の給付額予測が変わり、必要な掛金も変わることになるの。



例えば、予定脱退率が低下すると、定年まで在籍する可能性が高くなり、将来の給付額が大きくなる。そのため、より多く年金資産を積み立てていく必要があり、結果、掛金を引き上げる必要があるということですね。

将来の給付額が大きくなるというのはそのとおりね。ただ、予定脱退率が低下することによる、別の側面にも注意してね。



えっ！それは何ですか？

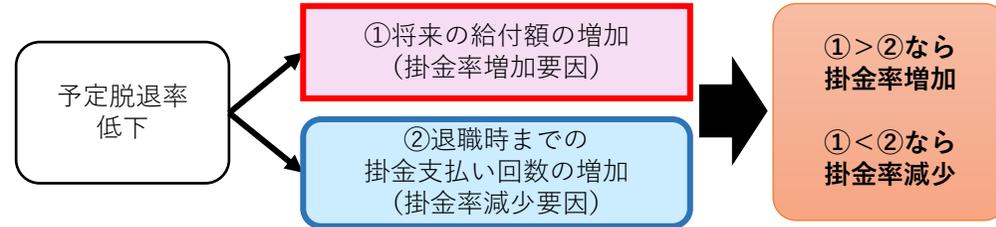


今度スミセイさんにも相談してみます。

予定脱退率が低下するという事は在籍期間が長くなり、退職までに掛金を支払う回数が増えるので、逆に1回あたりに支払う掛金が少なくてすむ、つまり掛金率が下がることもあるの。



### < 予定脱退率低下による掛金率への影響 >



なるほど。将来の給付額に与える影響と、掛金の支払い回数に与える影響の2つを考える必要があるのですね。どちらの影響が大きいかによって、掛金率がどう変わるかが決まるのですね。

そのとおり！細かく考えると難しいけど、脱退傾向が大きく変動していないなら心配しすぎる必要もないかもね。



計算基礎率の変更によって、DB制度の掛金が変わることについてよく理解できました。しかし、財政再計算はいろいろ検討することが多いですね。

通常、財政再計算は、計算基礎率の見直しによる掛金の変更だけで良いけど、年金制度は今後も長期にわたって運営していくものだから、さまざまな観点でチェックすることが重要ね。最近は特に運用環境の変動をよく耳にするから、運用方針の確認は大事かもしれないね。また、DB制度の給付設計（給付額）は、あまり頻繁に変更するものではないのだから、本当に今の給付額で十分なのか、このような財政再計算の機会に改めて考えないといけないかもね。



- ◆ 本資料は情報提供を目的に作成しているもので保険の募集を目的としたものではありません。商品のご検討にあたりましては、当社作成のパンフレット等をご覧ください。
- ◆ 本資料のデータや税制・法令等は、特定の記載がない限り、2024年11月現在のものです。今後、税制・法令等の改正により変更となる場合があります。

あなたの未来を強くする



【住友生命保険相互会社】  
東京本社〒104-8430 東京都中央区八重洲2-2-1  
電話 (03)6664-8630(年金数理室)  
〈ホームページ〉<https://www.sumitomolife.co.jp>